

平成27年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(前期:2015年4月～2015年9月)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
4月25日	土	13:30～15:00	講演会 「夢二・華宵 大正ロマンの画家たち」	中右 瑛 氏 (洋画家、美術評論家)	大正時代は、日本文化と西洋文化が交じり合い、現代のイラストやデザインの先駆けにもなった雑誌の表紙や口絵、挿絵、絵葉書などの商業美術が大きく花開きます。浮世絵研究家・中右瑛氏より、時代を先導しながら多くの人々に愛された竹久夢二・高島華宵、大正ロマンの画家たちの活躍ぶりを紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月10日	日	13:30～15:00	講演会 「大正～昭和初期の少女雑誌の世界 —淳一、かつら、村岡花子など—」	内田 静枝 氏 (弥生美術館学芸員)	可憐で優美な少女文化が最も花開いたのは、大正～昭和初期の少女雑誌を舞台にしなが、当時の女学生の間であると言えます。人気画家が描いた挿絵にはロマンチックな美意識が溢れています。現在の乙女文化のルーツでもあります。ここでは、大正・昭和の少女文化を多角的に紹介し、女学生たちに愛読された少女雑誌の世界を楽しみます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月16日	土	13:30～15:00	大正時代を知る	田邊 幹 (当館主任研究員)	企画展「大正ロマン昭和モダン」展の理解をより深めるため、その時代的背景を皆さんと学びます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月17日	日	13:30～15:00	国際博物館の日記念講座 「ユニバーサル・ミュージアムを考える」	山本哲也 (当館専門研究員)	現在、ユニバーサル・ミュージアムの視点を導入する博物館が増えています。主に、いわゆる視覚しやうがい者のために、触れる資料を用意する機会が多いのですが、本来目指すべきユニバーサル・ミュージアムの姿とは何かを考えます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月23日	土	13:30～15:00	楽しい古文書講座 入門編	井上 信 (当館主任研究員)	平仮名を中心に古文書に親しみます。古文書に全くふれたことがない人でも気軽に学べる講座です。	一般	35	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月30日	土	13:30～14:30	ミュージアム・コンサート 「春に聴くソプラノとチェンバロの調べ ～明治レトロ、大正ロマン、昭和モダン、そして夢二」	横田聡子氏(ソプラノ) 笠原恒則氏(チェンバロ)	竹久夢二は楽譜の表紙絵も手がけ、歌の世界を斬新なデザインで描きました。本コンサートでは、夢二が描いた『セノオ楽譜』(妹尾幸陽出版)の楽曲をはじめ、夢二が活躍した時代の楽曲をソプラノとチェンバロの調べにのせて演奏します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
6月6日 6月13日	土	13:30～15:00	古代の史料を読む1・2	浅井勝利 (当館専門研究員)	奈良平安時代の古文書や文献の読み解き方を学ぶ講座です。毎回一つの史料を取り上げ、その読み解き方やそこからわかることがらを学んでいきます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月27日	土	13:30～15:00	民俗収蔵庫見学会	陳 玲 (当館主任研究員)	博物館の裏舞台の一つである民俗収蔵庫をご案内いたします。学芸員によって収集、整理され、民俗資料となった生活道具が、新たな姿で新しい発見を提供してくれます。見学会を通して民俗資料の基本的な見方を紹介します。	一般	15	研修室 他	—	電話、葉書、FAX、メール
7月5日	日	①11:00～12:30 ②13:30～15:00	佐渡人形芝居上演会(2回上演)	佐渡 真明座	国重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の人形芝居」の上演会。午前は『曾我会稽山』、午後は『吉野都女楠』の一場面を上演する予定です。大変ユニークなのもま人形の上演も予定しています。	一般	各回 150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
7月11日	土	13:30～15:00	二十郷村の盆踊り	陳 玲 (当館主任研究員)	中越地震後、衰えていた盆踊りが新しい形で興されていることが注目されます。ここでは、山古志の事例を報告します。今でも伝わっている二十村郷の盆踊りとその移り変わりの実態に触れながら、個人に記憶されている盆踊りの多様な体験談や盆踊り観も紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
7月25日	土	13:30～15:00	河童が教えてくれた薬	大薬和正 (当館主任研究員)	河童が骨接ぎの秘術や、打ち身・ねんざの薬を覚えてくれた伝説は日本各地にあり、新潟県では「アイス」という不思議な名前では呼ばれていました。最新の研究成果から河童が教えてくれた薬「アイス」の謎を探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内 容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
7月26日	日	13:30～15:00	作ってみよう 「本格まが玉」夏の部	山本哲也 (当館専門研究員)	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「保護者と小学生以下の組み合わせ」で複数名での参加を原則とします。当館売店にて販売する「青田石」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて300円での販売予定)	親子	30	研修室	青田石 (内容を参照)	電話、葉書、FAX、メール
8月1日	土	13:30～15:00	シリーズ「運ぶ」 「北前船が運んだもの」	田邊 幹 (当館主任研究員)	「北前船」展の理解を深めるため、北前船が運んだモノが当時の社会、生活にどのような影響を与えたのかを探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月9日	日	13:30～15:00	講演会「新潟湊祭の歴史と文化」	福原 敏男 氏 (武蔵大学人文学部教授)	祭礼を華やかに飾り立て、盛り上げる「山・鉦・屋台行事」と総称される多様な造形があります。北前船ルートは商業の副産物として、民謡などの文化伝播の道でもあり、上方からの祭礼伝播の問題として新潟湊祭を考えていきます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
8月22日	土	13:30～15:00	親子でくらべる遊び場の地図	三国信一 (当館主任研究員)	こどもの遊び場は、地域や時代によって大きく異なっています。親子で遊び場の地図を描くことによって、遊びの種類、行動範囲、目印としたもの、秘密基地の有無などをくらべることになり、普段にないコミュニケーションをとることができます。また、こどもの遊び場や遊びには、その地域の歴史や伝承文化を含む場合もあり、描いた地図を参加者で読み解いてみます。	親子	10組	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月23日	日	13:30～15:00	特別展「北前船」番外講座 パークスはミナト新潟に何を見たか	青柳正俊 (当館副館長)	イギリス公使パークスは、幕末から明治初期にかけての日本の外交進路に大きな影響を与えた人物として知られています。幕府の方針によりやむを得ず新潟の開港を認めたとされるパークスですが、当時の史料を確認すると、彼が意外にこの港町のことを高く評価し続けていたことがわかります。日英両国の外交文書を詳しくたどりながら、当時随一の外交官の視点から「外国交易港としてのミナト新潟」を見つめ直します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月30日	日	13:30～15:00	講演会 「越後・佐渡の北前船主 —近代新潟県の産業化と海運—」	中西 聡 氏 (慶應義塾大学経済学部・大学院経済学研究科教授)	近代期の新潟県は、日本有数の米作地域でしたが、農産物の流通で日本海海運と深く関わり、日本海海運で活躍した北前船主を多数輩出しました。本講演では、新潟市域、頸城地方、佐渡島を出身とする北前船主の経営展開を取り上げ、彼らが近代新潟県の産業化にどのような役割を果たしたかを解説します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
9月5日	土	13:30～15:00	シリーズ「運ぶ」 「佐渡の産金輸送」	渡部浩二 (当館専門研究員)	江戸時代に佐渡は幕府領となり、産出された金銀は江戸まで運ばれました。金銀が運ばれた街道や輸送の様子などについて解説します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月12日	土	13:30～15:00	シリーズ「運ぶ」 「縄文時代の舟」	西田泰民 (当館学芸課長)	舟は縄文時代唯一の乗りものと考えられ、丸木舟の出土が各地で報告されています。材料となる木材や形状の時代差や地域差が明らかになりつつあります。また、どの程度の積載量があったのか復元を試みます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月26日	土	13:30～15:00	シカチ・アリアンの岩面画をみる	宮尾 亨 (当館専門研究員)	秋季企画展関連講座。ロシア極東地域には、年代の定かでない岩石に彫り込まれた線画が点在しています。ハバロフスク市近郊のシカチ・アリアン村には無数の岩面画が確認されています。日本では、モチーフの類似する洞窟壁画が北海道余市町のフゴッペ洞窟、小樽市の手宮洞窟で確認されています。本講座では、これらの岩面画について紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

\* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へは

ご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136

メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報は、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

